

【学校施設見学報告書】木更津市立中郷小学校

令和4年10月11日(火)午後

<目次>

1 施設概要	1
2 施設見学写真	3
3 質疑応答	7
4 参加者感想（アンケートとりまとめ）	8

【参加者】

＜青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会委員＞

城森 隆之、野尻 剛史、安藤 玲仁、榎本 孝、安室 良二、平野 恵子、
平野 勉

<事務局>

中山 淳子、山下 知哉

木更津市立中郷小学校は、旧校舎の改築によって木造校舎、RC造の屋内運動場が整備され、平成31年4月から使用されている。

1 施設概要

所 在：木更津市井尻 978

敷地面積：10,818 m²

構 造：木造 地上1階（校舎）、RC造2階（屋内運動場）

延床面積：1,409 m²（校舎）、624 m²（屋内運動場）

<施設外観>



<敷地配置>



画像 Google map より

<児童数等>

児童数は、令和4年5月1日時点では、下表のとおり児童数90人であり、木更津市の小規模特認校（※別紙参照）に指定され、市内の学区外から約20人が通学している。

また、地域と連携した取り組みが多く行われている学校である。

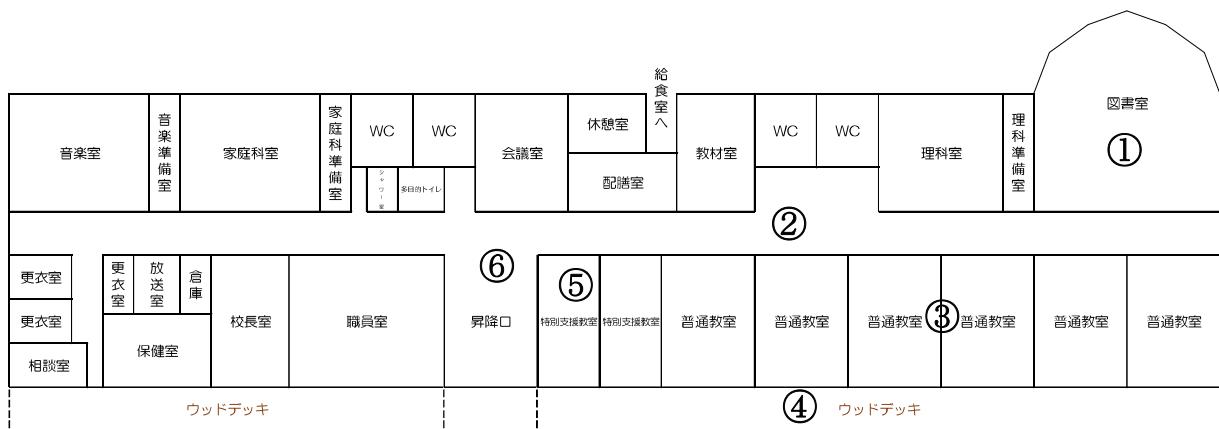
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計	
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	
児童数	男	8	4	12	5	3	5	9	46
	女	9	5	5	7	9	9	0	44
計	17	9	17	12	12	14	9	90	

<施設の特徴>

木造平屋建ての校舎は、木の香り、温もりが感じられるとともに、校舎の横幅全面に施工されたウッドデッキと、放射状の梁組みにより開放的な空間となる図書室が特徴である。また、普通教室の広さは、1クラス最大でも20人程度の児童が使用することを想定し、一般的な広さの約2/3程度となっている。

2 施設見学写真

<校舎フロアマップ>



<①図書室>



<②廊下>



廊下は、構造体の梁が見える構造で、明り取りの窓からの採光がよく開放的。板張りの壁の雰囲気もよい。

<③普通教室>



柱、床仕上げ、内部仕上げ、内部建具のみならず、掃除用具入れや広めのロッカー等の家具類も木製となっている。

出入口の木製建具は、軽い素材で開閉がスムーズであった。

<④ウッドデッキ>



教室からグラウンド側に出るとウッドデッキが広がる。
ウッドデッキは、交流イベントなど学校行事でも活躍している。
天然木のウッドデッキであり、メンテナンスは頻繁に行う必要がある。

<⑤特別支援教室>



特別支援教室は、普通教室よりもさらに縦幅が短く、横長の形状となっている。
各部屋の表示も木で製作されている。

<⑥昇降口>



<屋内運動場>



校舎から木造の渡り廊下を通り屋内運動場へ接続。屋内運動場は、RC造でコンパクトに設計されおり、屋根は木造校舎と同じグリーン系の屋根材、内壁は木質系の素材を用いており、木造校舎との統一感が感じられる。

3 質疑応答

Q 1 木造校舎は、児童が落ち着いて学習できるなど、良い影響を感じることはあるか？

A 1 校舎に入って感じられたように、児童も木の香り、木の温もりを感じることは、児童の精神的な安定に影響を与えていていると考える。

Q 2 木造校舎の管理について苦労はあるか？

A 2 ウッドデッキのさくられや外壁の劣化など、学校のみで管理することは困難なため、市と協力して実施していく必要がある。

Q 3 校舎の結露はあるか？

A 3 特にありません。

Q 4 小規模特認校として学区外から入学する理由は、どのようなものか？

A 4 理由は様々であるが、新しい木造校舎であることや、小規模校を希望する方もいる。

Q 5 学校図書はバーコード管理されているか？

A 5 現在バーコードによる書籍管理の準備を行っている。また、市内の学校の先駆けとして、市立図書館と連携し、電子書籍が利用できる環境となっている。

Q 6 地域との連携としてはどのような取り組みがあるか？

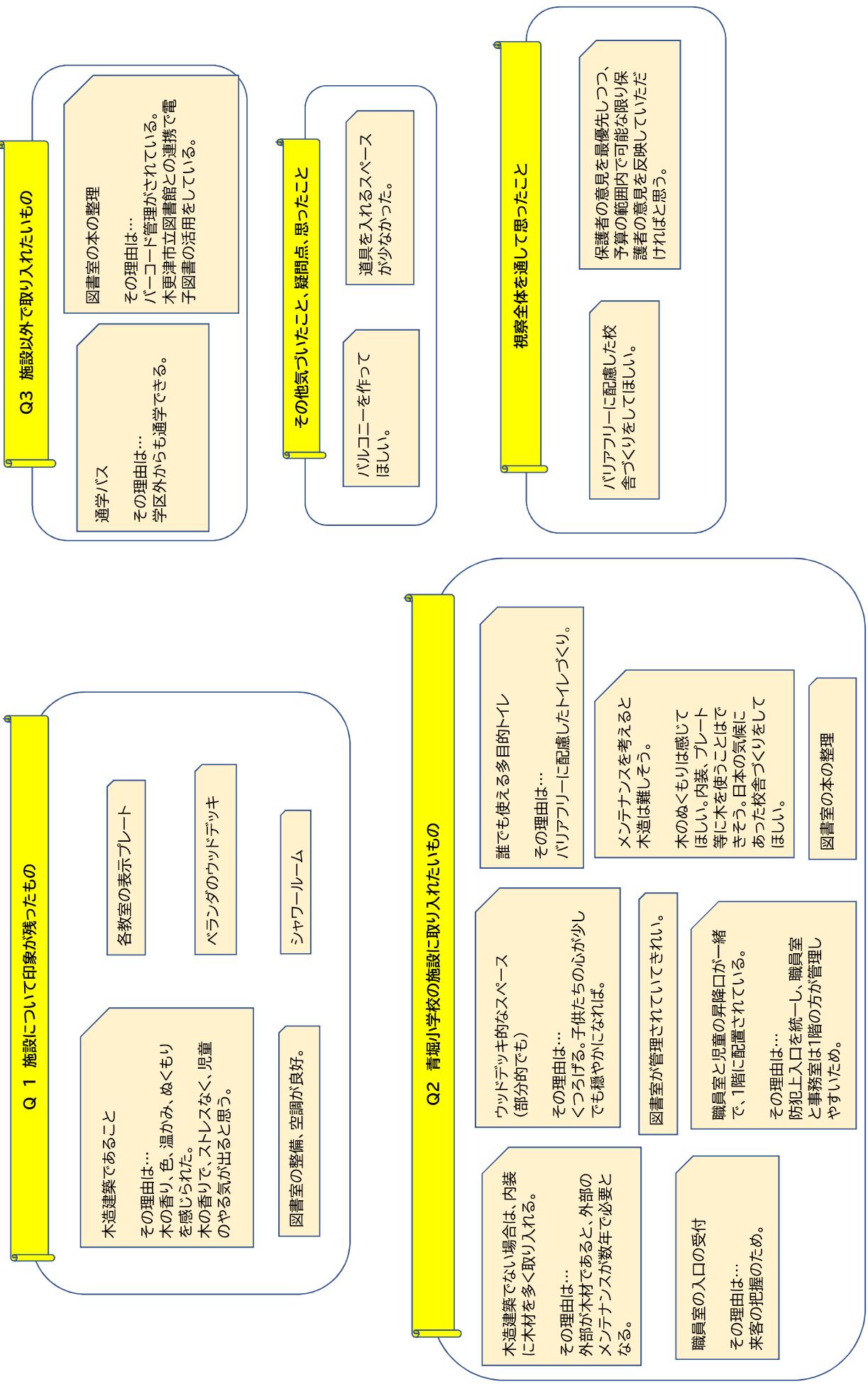
A 6 公民館の文化祭や、地域の夏祭りを学校で実施することもある。また、校庭の芝生化プロジェクトは木更津法人会の協力により実施している。

5年生のお米作りでは、地域の農業委員が協力し、G P Sを利用した最新鋭のコンバインに触れることができたり、米粉を利用した取組みなどがあり、農業を将来の職業として意識できるような仕組みである。

Q 7 放課後児童クラブなど、放課後の児童の過ごし方は？

A 7 放課後児童クラブは、校舎の裏手に私立の施設があり、約40人が利用している。また、コロナ禍で休止となっていた放課後子ども教室が10月から再開となった。

4 参加者感想（木更津市立中郷小学校見学アンケートとりまとめ）



○小規模特認校制度とは

小規模特認校制度は、文部科学省による「通学区域制度の弾力的運用について（通知）」（平成9年1月27日付け文初小第78号文部省初等中等教育局長通知）以降に導入された「学校選択制」の一つである「特認校制」のうち「小規模校」において取り入れられている制度です。

特認校制	従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの
------	--

○木更津市では

東清小学校、中郷小学校、鎌足小学校、富来田小学校、鎌足中学校、富来田中学校を小規模特認校として導入していることから、この学校に対しては、市の全域からの入学申請を受け付けています。受け入れ人数は、在校生の人数に応じて決定し、抽選により入学の可否が決定します。

東清小学校、中郷小学校、鎌足小学校は、無料バスを運行していますが、保護者の責任において通学することとしています。

地域の特産物調査・栽培体験活動 ＜総合・社会・家庭＞

1・2年：イチゴ 3年：梨 4年：枝豆
5年：米 6年：とうもろこし 全学年：養豚

・米（5年）は、ROVERS選手等にプレゼント。ラベルデザイン考案も含め、「おいしい中郷米」をPRする。

・とうもろこし（6年）は、地域（まちづくり協議会等）の協力を得て内外に販売する。

・「林 SPFポーク」を給食に提供して、それに併せて食育を行っていく。

・「ごはんクリエイト」の協力を得て、料理開発等の家庭科授業を実施。



中郷小学校の

特色ある教育活動

「PHI Jazzオーケストラ」との連携による音楽活動<音楽等>

- ・教育課程に「ジャズ楽器に触れる・演奏してみる」「ジャズについて学ぶ」等を盛り込む。
- ・学校生活の中にジャズを取り入れ、ジャズの日常化を図る。

※PHI = Public Harmony for the Independenceの略称
中郷地区およびその近隣に在住する小4以上の児童生徒で構成する
ジャズオーケストラ。令和3年1月発足。

「房総ROVERS木更津FC」との連携によるスポーツ活動 <体育・総合等>

・サッカーの授業をドリームフィールド（ROVERS本拠地）で実施する。

- ・講師はカレン・ロバート含む指導員、選手に依頼する。
- ・公式戦に招待してもらい、生の迫力を体験する。



～中郷ならではの教育課程編成に向けて～

- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、地域と連携しながら児童の資質や能力を育む教育活動を創出し、本校の教育課程に組み入れていく。また、『地域の活性化・ふるさと中郷への愛着を持つ』という地域と学校とが共有する目的のもと、中郷ならではの教育課程を作り上げていく。